三　変更後の指定施業要件
㈠　立木の伐採の方法
1　主伐は、択伐による。
2　主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
3　間伐に係る森林は、次のとおりとする。
㈡　立木の伐採の限度　次のとおりとする。
（「次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を鹿児島県庁及び鹿屋市役所に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第千百五十七号
森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十三条の二の規定により、次のように保安林の指定施業要件を変更する。
平成二十七年五月十三日　農林水産大臣　林　芳正
一　指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所及び保安林として指定された目的　次に掲げる告示で定めるところによる。
昭和四十七年七月二十五日農林省告示第千三百五号（五に係るものに限る。）
二　変更後の指定施業要件
㈠　立木の伐採の方法　変更しない。
㈡　立木の伐採の限度　次のとおりとする。
（「次のとおり」は、省略し、その関係書類を鹿児島県庁及び曽於市役所に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第千百五十八号
森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十三条の二の規定により、次のように保安林の指定施業要件を変更する。
平成二十七年五月十三日　農林水産大臣　林　芳正
一㈠　指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所　兵庫県養父市関宮字横次二〇八の二（次の図に示す部分に限る。）、朝来市多々良木字灰原一五四の一、一五四の二、一五四の七、左嚢字不動橋二一六の一（次の図に示す部分に限る。）、二一五、二一六の三、二一六の一六、岩津字堤一七一の一（次の図に示す部分に限る。）
㈡　保安林として指定された目的　水源の涵養
㈢　変更後の指定施業要件
1　立木の伐採の方法
(1)　主伐に係る伐採種は、定めない。
(2)　主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3)　間伐に係る森林は、次のとおりとする。
2　立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種　次のとおりとする。
二㈠　指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所　兵庫県朝来市物部字賀久志谷一五の八（次の図に示す部分に限る。）、一五の一四、字寺加谷三〇の二・三一の二・三一の六・三四の二・三六の二・四〇の一（以上六筆について次の図に示す部分に限る。）、三一の七、三七の二、四四の一、多々良木字松尾一九七から二一一まで、二二五、左嚢字野尻山九八の一
㈡　保安林として指定された目的　土砂の流出の防備
㈢　変更後の指定施業要件
1　立木の伐採の方法
(1)　次の森林については、主伐は、択伐による。
字松尾一九八・二〇六・二〇七・二一一（以上四筆について次の図に示す部分に限る。）
(2)　その他の森林については、主伐に係る伐採種を定めない。
(3)　主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(4)　間伐に係る森林は、次のとおりとする。
2　立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種　次のとおりとする。
三㈠　指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所　兵庫県朝来市物部字賀久志谷一五の八（次の図に示す部分に限る。）、字寺加谷三〇の二・三一の二・三一の六・三四の二・三六の二・四〇の一（以上六筆について次の図に示す部分に限る。）、三〇の五、六四の二、六九の二
㈡　保安林として指定された目的　土砂の崩壊の防備
㈢　変更後の指定施業要件
1　立木の伐採の方法
(1)　主伐は、択伐による。
(2)　主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3)　間伐に係る森林は、次のとおりとする。
2　立木の伐採の限度　次のとおりとする。
（「次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を兵庫県庁及び関係市役所に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第千百五十九号
森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十三条の二の規定により、次のように保安林の指定施業要件を変更する。
平成二十七年五月十三日　農林水産大臣　林　芳正
一㈠　指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所　兵庫県養父市稲津字トウサカ谷一三、上野字池ケ谷一四〇の一、字吉ケ谷一九二、字梅ケ谷一九九、二〇〇、大藪字岩尾谷一七の一、中米地字下山五の六、五の七、五の九、五の一一、五の一二、五の一四、五の七四から五の八一まで、字直谷四九の三、四九の九、四九の二〇、四九の二九、四九の三一、五〇、六六の一
㈡　保安林として指定された目的　水源の涵養
㈢　変更後の指定施業要件
1　立木の伐採の方法
(1)　主伐に係る伐採種は、定めない。
(2)　主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(3)　間伐に係る森林は、次のとおりとする。
2　立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種　次のとおりとする。
二㈠　指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所　兵庫県養父市船谷字袖谷九一、九二、九三の一、九四、九五の一、九五の二、九六から一〇四まで、九六の一、一〇〇の一、一〇五の一、一〇五の二、一〇六から一一四まで、一〇七の一から一〇七の五まで、三八六、浅野字天神ガサコ一〇六（次の図に示す部分に限る。）、一〇六の一、十二所字才谷一の六から一の二一まで、字皆田八八三、上箇字宮ノ上ミ六三の一、六四から六七まで、六八の一
㈡　保安林として指定された目的　土砂の流出の防備
㈢　変更後の指定施業要件
1　立木の伐採の方法
(1)　次の森林については、主伐は、択伐による。
字天神ガサコ一〇六（次の図に示す部分に限る。）、字皆田八八三、字才谷一の六（次の図に示す部分に限る。）、字宮ノ上ミ六八の一（次の図に示す部分に限る。）
(2)　その他の森林については、主伐に係る伐採種を定めない。
(3)　主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
(4)　間伐に係る森林は、次のとおりとする。
2　立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種　次のとおりとする。
（「次の図」及び「次のとおり」は、省略し、その図面及び関係書類を兵庫県庁及び養父市役所に備え置いて縦覧に供する。）

○農林水産省告示第千百六十号
森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十三条の二の規定により、次のように保安林の指定施業要件を変更する。
平成二十七年五月十三日　農林水産大臣　林　芳正
一　指定施業要件の変更に係る保安林の所在場所　兵庫県姫路市安富町関字若山一一五三の一、一一五三の二
二　保安林として指定された目的　水源の涵養
三　変更後の指定施業要件
㈠　立木の伐採の方法
1　主伐に係る伐採種は、定めない。
2　主伐として伐採をすることができる立木は、当該立木の所在する市町村に係る市町村森林整備計画で定める標準伐期齢以上のものとする。
3　間伐に係る森林は、次のとおりとする。
㈡　立木の伐採の限度並びに植栽の方法・期間及び樹種　次のとおりとする。
（「次のとおり」は、省略し、その関係書類を兵庫県庁及び姫路市役所に備え置いて縦覧に供する。）